学校番号	T3010

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	造形	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎的な造形技術を習得して作品制作の基礎的・基本的な知識を学びます。
使用する材料についての理解や加工法の習得とアイデア等の表現力や立体表現の感覚を身に付けて、計画的に作業を進める態度を育成します。
計画的に作品制作を進める為、休まずに出席することが大切です。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
立体造形制作のための材料加工に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
機械工具の操作や道具の扱い、正しい使用方法と手入れを習得する。

【思考力、判断力、表現力等】
立体造形の構成要素としての材料は適切か、十分な強度を有するか、安全性が確保されているか。
自身のアイデアが意図的に表現できているかなどを総合的に考える力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】
自身のアイデアを的確に表現する為の準備から片付けまでを計画的に実行できているか、材料の地金取りは適切か、考えた機能性は表現できているかなど総合的に判断できる能力と態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	材料やその加工法に関する知識と技術を身につけている。 安全に作業を行う方法を理解している。	制作課題に対して学んだ技術を適切に活用し、自身のアイデアを適切に表現することができる。	作品制作の準備から片付けまでを意欲的に取り組み、根気よく作業を行う態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	金属加工方法　彫金制作	キーホルダーの制作 カトラリーの制作 金属の材料（銅合金）とその特性についての理解 仕上げの知識と工具の取り扱い 糸鋸による金属加工と銀ろう付けの習得	a:金属に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけている。 b: 課題の趣旨を理解し学んだ技術を適切に判断・活用して制作物を表現することができている。 c: 制作課題に対し関心を持って意欲的に取り組んでいる。	作品 授業態度 プリント	作品 授業態度 プリント	作品 授業態度 プリント
二学期	材料加工方法　ペンスタンド制作	ペンスタンドの制作 アイデアの意図的表現と機能性についての理解 仕上げの知識と工具の取り扱い 木材、金属の材料選択と加工法の理解	a:材料に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけている。 b: 課題の趣旨を理解し学んだ技術を適切に判断・活用して制作物を表現することができている。 c: 制作課題に対し関心を持って意欲的に取り組んでいる。	作品 授業態度 プリント	作品 授業態度 プリント	作品 授業態度 プリント
三学期	作品仕上げと鑑賞	七宝小皿の制作 銅の展延性の理解と装飾方法についての実践と理解 仕上げの知識と道具の取り扱い 作品仕上げ方法と鑑賞	a:銅の展延性と基本的な加工技術を理解している。 b: 課題の趣旨を理解し学んだ技術を適切に判断・活用して制作物を表現することができている。 c: 制作課題に対し関心を持って意欲的に取り組んでいる。	作品 授業態度 プリント	作品 授業態度 プリント	作品 授業態度 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度